情勢報告（平成２８年５月分）

中央東農業振興センター嶺北農業改良普及所

トマト生産者組織「大豊とまと」が設立！！

設立総会の様子

大豊町の有機栽培トマト生産者が中心となった組織‘大豊とまと’の設立総会が大豊町立山村農業実践センターで、５月２日に開催され、構成メンバー８名と関係機関 12 名が参加しました。

普及所では組織設立に至るまで関係機関と連携し、規約や組織運営方法について支援してきました。組織は大豊町でトマトを生産する 10 戸の農家で構成され、栽培管理技術の相互研鑽と有利販売を目的に活動していく予定です。

設立総会では、構成メンバーが本年の経営目標を発表し、お互いの経営について情報共有しました。

今後、普及所は組織の活動計画や勉強会等の活動に対する支援を行います。

ＪＡ土佐れいほくカラーピーマン部会現地検討会で栽培管理を周知

部会員同士で熱心に情報交換

４月 26 日、ＪＡ土佐れいほくカラーピーマン部会は、大豊町と本山町とで現地検討会を開催し、24 名の生産者が参加しました。

検討会では、普及所は定植後の管理や天敵の活用などについて説明しました。

現地ほ場で、麦バンカープラントに発生しているムギクビレアブラムシを参加者で確認し、天敵の活用について情報交換をしました。

普及所は、今後も適期の栽培管理を徹底するため、ＪＡと連携して部会活動を支援していきます。

おおとよ小学校の田植え学習

木枠を使っての田植え風景

５月 12 日、大豊町立おおとよ小学校の５年生６名が、学校近くの棚田で田植え体験学習を行いました。普及所からは米づくりの作業やお米の品種、水田の役割について説明を行いました。その後、生産者から植え方を習い、ＪＡや役場の職員と一緒に水田に入り、田植えをしました。

参加した児童からは「お米の品種がわかった」「始めは歩きにくかったが、だんだん慣れて上手に植えられた」などの感想が聞かれました。

次回は７月に、草取作業と田んぼの生き物等についての学習を行う予定です。

本山町のキムチ加工品の販路拡大を目指して！！	
 キムチ加工品	「本山町キムチ生産組合うれっこ」は、４月 21 日、５月９日に本山町農業公社でキムチ加工品の販売拡大について、メンバー３名と普及所担当者で協議しました。 その結果、商品規格書やＰＲ資材の作成、適正な売価設定、量産体制の整備に取り組むことになりました。 今後、普及所は関係機関で６次産業化支援チームを立ち上げ、専門アドバイザーの助言を得ながら、販路拡大に向けて支援します。